



鶴川町 法城寺 様

平成三十年度、十勝組の活動も無事終了致しました。ご協力賜りました事に改めて厚く御礼申し上げます。今年度の災害支援の活動は福島県に支援物資の送付を実施致しましたが、九月に発生しました胆振東部地震死者四十二名を出す大惨事となりました。本派寺院の被害も甚大との報告を受け十勝組としても早速、現況把握のため胆振組五ヶ寺を訪ねお見舞いをお渡し致しました。又、後日改めて組としての義援金を胆振組長宅へ届けさせて頂きました。今年が平成最後の年となりますが、私は平成を振り返ってみて、大災害の多発した三十年であったと思っております。北海道南西沖地震、阪神淡路大震災、東日本大震災、近年では熊本地震、西日本豪雨災害等々未曾有の大災害が頻発致しました。五月より新元号となり平成が終わるわけではありますが私達はこの惨事を過去の出来事として決して忘れてはいけないのではないのでしょうか。そこには多くの犠牲になられた方々がいたことを、そして今現に苦しんでおられる方がたくさんいることを。寄り添う・忘れないのが一番の支援活動に繋がることと思っております。

新元号元年、組長最後の年となります。今年度もご協力賜りますようお願い申し上げます。



今年度を振り返って



十勝組だより

題字揮毫
妙覚寺住職
脇谷 暁暢 氏

十勝組組長 立教寺 千葉照映

発行所
新得町立教寺院内
十勝組組長事務所
発行人
千葉 照映



御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

今年度の支援活動を振り返って

十勝組副組長 岩崎教之

二年前当地に甚大な被害をもたらした台風の記憶がまだ消えない中、今年は胆振東部で北海道において観測史上最大となる震度七の地震が発生しました。全国各地どこにでも起こる自然の猛威を改めて思い知らされ、八年前の東日本大震災を契機としてプロジェクトに据えた災害支援活動の重要性が再認識されました。ここに今年行った組の支援活動を報告いたします。

【西日本豪雨義援金】

七月中国・四国地方を中心に大雨により、土砂災害や河川の氾濫等、多大な災害をもたらした「平成三十年豪雨」の被災地に義援金四十万円を送りました。災害義援金に関しては予算化できることではないため、特別積立金会計からの支出となりました。後述の胆振東部地震に対する義援金も同様です。

【アイリス学園へ支援物資の送付】

今年で二年目と恒例となったアイリス学園への支援物資送付を十月十七日に行いました。各寺院から提供いただいた物資を集荷、梱包し発送しました。送料を考えると不経済ではありますが、南瓜、いも、昆布など当地の産物と同時に私たちの思いを届けたい一念で発送作業を行いました。

【胆振東部地震被災地支援】

九月六日に発生した巨大地震は胆振、

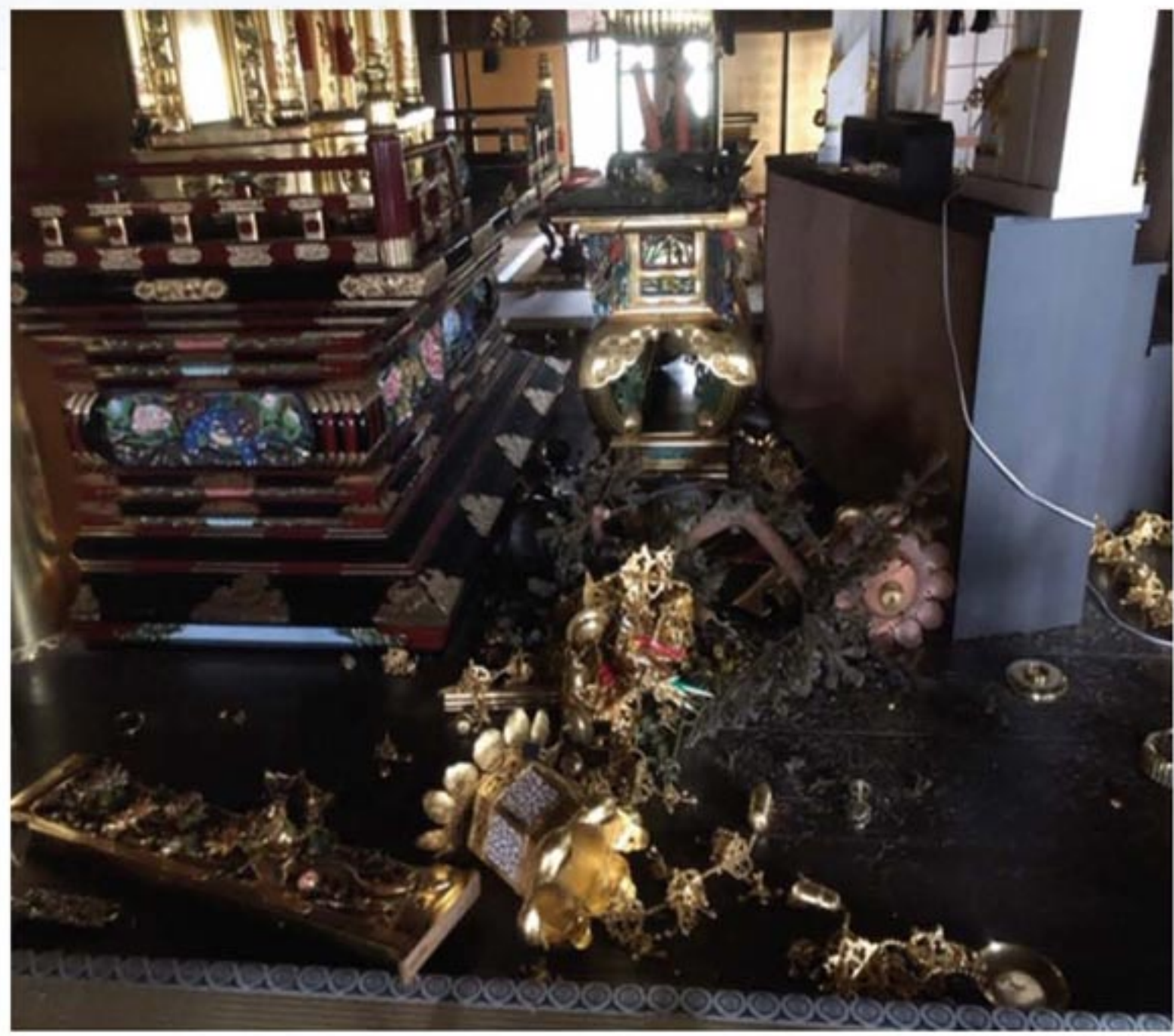
日高札幌と広範囲に甚大な被害をもたらしました。

発生二日後に素早く支援活動に向かった（鵜川町・法城寺）上本、永田両氏をはじめとして多くの方が足を運んで支援活動を行いました。組としてはまず、特に被害が大きかった胆振組の五か寺に組長が見舞金を持って慰問し、日高組の二か寺には後日（支援物資発送の日）日高組長にお届けしました。

さらには札幌組に十万円の義援金を送り、胆振組には

十月十二日三役全員が揃って、胆振組長へ百万円お届けに伺いました。途中、鵜川町・法城寺（鐘楼堂が倒壊）と早来・実成寺（本堂が倒壊寸前）を見舞い惨状を目の当たりにしました。どう再建するか今は考えもつかない状況の中、私たちの支援活動が、一人では立ちいかない困難から一歩でも先に進むうとする思いを後押しする助けになると感じてきました。

皆様からたくさんの支援金を頂戴したことに感謝申し上げます、報告といたします。





お祝いの会

十勝組副組長 桃井直行

今年度の「十勝組お祝いの会（研修講師団を囲む会）」は、11月1日に十勝川温泉「観月苑」で三十名の出席者のもと開催されました。

今年度のお祝いの対象者は次の方でありました。

信行寺	岡西慶照	夫妻	様	(ご結婚)
本證寺	平林 祐	夫妻	様	(ご結婚)
立教寺	千葉一光	夫妻	様	(ご結婚)
壽光寺	増山直樹	夫妻	様	(ご結婚)
妙法寺	石田 智秀	様		(住職継職)
妙法寺	石田 秀誠	様		(住職退任)
報徳寺	佐藤 信広	様		(住職継職)
浄信寺	御幸 誓見	様		(住職三十年)
浄教寺	池上 恵龍	様		(住職三十年・僧籍五十年)

まず最初に、千葉組長よりお祝いの対象者の皆様に祝辞が述べられ、恒例?になっているご結婚の方へのプレゼント（組長のポケットマネーから）が渡されました。

その後、対象の皆様より一言ずつお話し頂き、続いて乾杯！！

今回は、特に結婚された方が多く、そのうち3組の新婚のご夫妻が出席して下さいましたので、とても初々しく華やかな雰囲気での祝宴となりました。



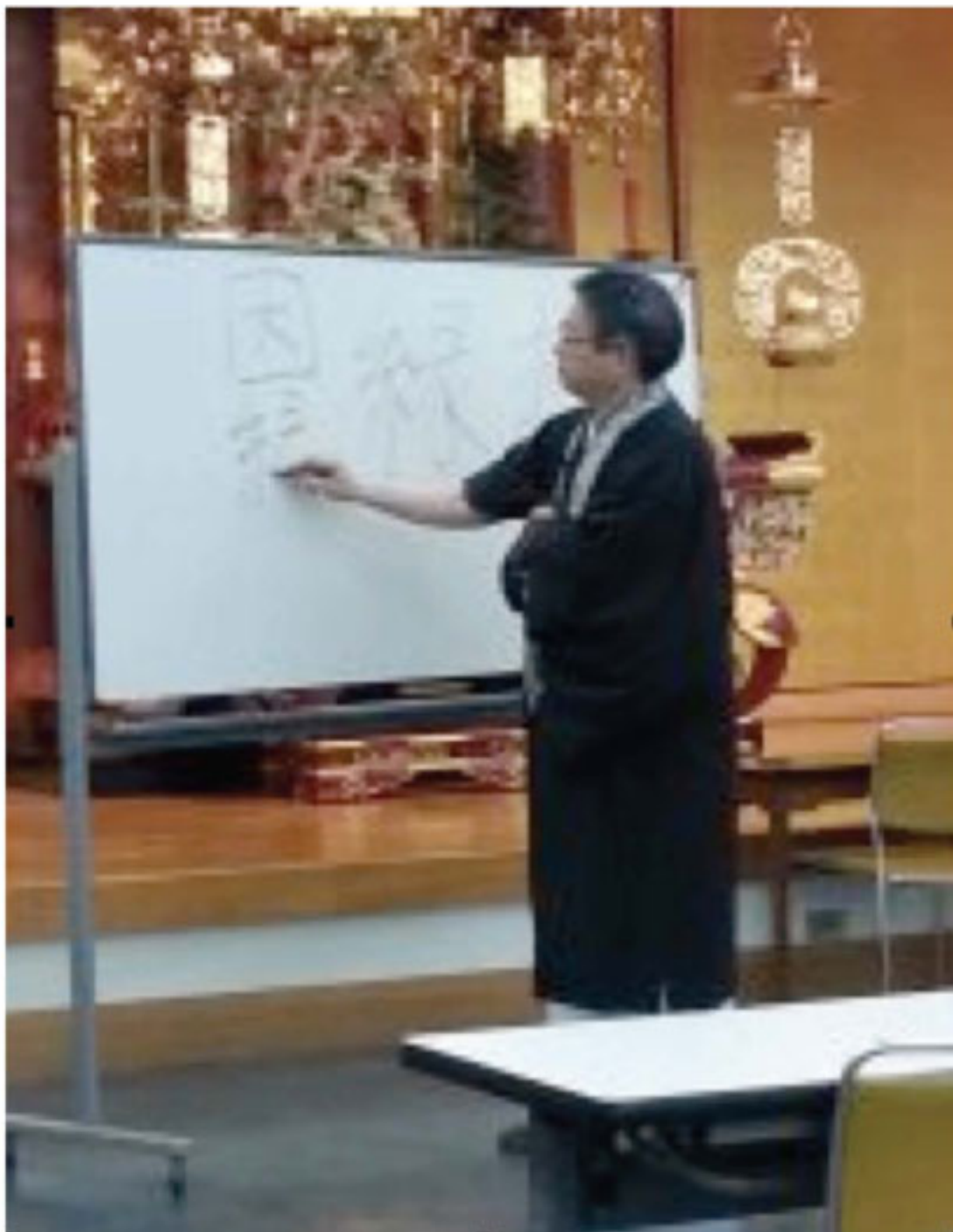
総代会部 活動報告 総会・研修会

十勝組総代会部部長 桃井信之






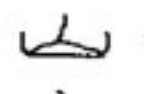





総代会部では、平成三十年度の総会・研修会（第三十回）を三月二十八日、帯広別院を会場として開催いたしました。この総会・研修会は、農繁期となる直前の三月下旬に開催しています。しかし参加寺院数も参加者も多いとは言い難く、役員の確保も難しい状況です。組内各寺住職が、自坊のみならず、組や教区における活動の重要性をあらためて認識する必要があると感じます。

総会では、事業報告・事業計画 収支決算・予算等の審議があり、全て承認されました。

研修会では、新得町・新泉寺ご住職・高久教仁師を講師に迎え、「漢字が伝える人の生き方」という講題でお話しいただきました。講義では、日常私たちが日本人が用いている漢字が、その成り立ち等から何を私たちに伝えようとしているのかを平易に解説していただきました。講師は書道に造詣が深く、学生時代から研鑽を深め、書の対象となる漢字についても、その成り立ちから詳しく学んでいます。その知識・能力を生かし、地域においても教育関係の場で講演することも多いと聞いております。今回はことに仏教の見地から、漢字の教える人間の生き方を主題にお話し頂きましたが、大変興味深い内容で、参加した総代の皆さんから「もっと聞きたかった」という感想をいただきました。



(講師 高久教仁 師)

	—		—	日	(Hi) SUN
	—		—	木	(Ki) TREE
	—		—	山	(Yama) MOUNTAIN
	—		—	人	(Hito) PERSON
	—		—	鳥	(Torii) BIRD
	—		—	月	(Tsuki) MOON

平成三十年度の「北海道教区Cブロック門徒総代研修会」は、七月十一・十二の両日、釧路組の主管にて、釧路プリンスホテルを会場に開催されました。中尾了信教務所長、種市顯治教区総代会々長、磯部敏雄十勝組総代会会長をはじめ、道東各地より各寺の総代・住職方が参集し、参加者は総勢百二十六名を数えました。

講師には、ごまざわ小児科医院院長・駒澤勝氏にご出向いただき、「阿弥陀さまと私」と題して2日間にわたりご講演いただきました。氏は小児科医として、幼くして命を失う子どもや不治の病に生きる幼な子と向き合う中で、医療と科学の限界を痛感していたといえます。そして「人間の命や人とはいかなるものかを考え、その答えを求めていったとき、親鸞聖人のみ教えに出会い、その深い人間・生命への洞察から、人間の「生きる意味」が明らかになったとお話になりました。このことは、氏の著『目覚めれば弥陀の懐』小児科医が語る親鸞の教えにも記されています。

今大会の主管は釧路組でしたが、水野昭人組長をはじめ、組内スタッフによって周到に準備されてきたことがよく感じられる充実した大会であったと思います。受付時からその熱気が感じられ、講演はもとより、懇親会・二次会に到るまで非常に盛り上がり、総代さん同士が、横のつながり、を確かめ合い、喜び合うことができた大会となったと報告を受けました。釧路組総代会関係者各位にあらためて深く感謝申し上げます。次第です。平成三十一年度は、札幌において「全道総代会」の形で開催される予定です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

Cブロック 門徒総代研修会





実践運動活動報告

実践運動副委員長 石田智秀

平素より十勝組の実践運動のさまざまな活動へのご理解・ご協力ありがとうございます。特に、各部の部長さまや担当部員の方々には、春のお彼岸と重なる年度末のご多用の時期にも拘わらず、各部の活動報告をご提出くださり、本当にありがとうございます。

十勝組の実践運動では、今年度も多岐にわたる活動を行うことができました。

二〇一八年四月には富山・勝福寺より藤島秀天師をお迎えし、二十四・二十五日は僧侶研修会、二十六日には聞法の集いと、三日間にわたってお話を聞くことができました。

これは三月に龍谷教学会議北海道支部大会との共催で、東京から相馬一意和上をお迎えして行う予定であった聞法の集いが豪雪のため開催不可能となったことの振り替えでもありました。もったいないことに、十勝組ではすっかり「おなじみ」と感じられるようになった藤島先生です。今年の僧侶研修会では、本願寺派の僧侶であり哲学者であり俳人でもあった、大峯顕先生の講演録を引用されながら、浄土真宗の肝心要の大事なところを、まさに「つねのおおせ」で、熱く深く伝えてくださいました。聞法の集いとあわせて御礼申し上げます。ありがとうございます。

また、二〇一九年二月六日には、特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘・施設長・高畑訓子師をお迎えし、「少子高齢化社会の現状」と題して僧侶研修会を開催いたしました。やさしい雰囲気と語り口でありながらも、数十年にわたる実践によって裏打ちされた先生の言葉には力強さと説得力がありました。そしてわたしたち一人ひとりに今いる場所ので考え実践することを迫る不思議な力がありました。

新年度も、東日本大震災や道内外の被災地支援をはじめ、宗派主導の貧困対策に関連した組独自の活動など、さまざまな活動をこなすまいります。よりいっそうの協力、よろしくお願いたします。 称名



僧侶研修会より 藤島 秀天師

研修部活動報告

部長 脇谷暁融

二〇一八年度における研修部報告、ならびに来年度にむけての計画をお知らせします。

毎年度開催の「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）推進僧侶研修会」は、二〇一八年十月二四日（水）午後一時半から開催致しました。会場は例年同様の帯広別院講堂にて、参加者約二〇名が受講をしました。

今年度は、北海道新聞ほかでコラムを掲載しておられました、第一生命経済研究所首席研究員である小谷みどりさんをご多忙の中、お迎えしました。テーマには「講師の専門分野である「墓地、葬儀の現実」多死・人口減少・少子高齢化社会のなかで」と題し、現代社会における現状・分析と将来訪れる社会のあり方から、私たちが日常法務の中で、独居である高齢者や遠く住まいするご家族に接していくことは多々あります。その中で多形態に変容する葬儀、そこにまつわる納骨や墓地を取り巻く環境、さらにはこれらの事態を取り扱う最前線である僧侶や寺院に対する期待や要望など、広く深い視点からご指摘頂きました。

加えて長年継続している「十勝組テレホン法話」は現在も順調に運用中です。テレホン法話の法話順は、別文書で総会終了後にご依頼をさせて頂いてありますが、直近一ヶ月前には直接担当者までハガキにてご案内をしております。忘備なく受けて頂いています。

なお「十勝組第一〇期門徒推進員養成連続研修会（連研）」は、未開催で既に六年が経過しました。連研に対する意識は、本来あるべき「話し合い法座」の取り組みが希薄となり、真宗入門講座的な発想へと変質していくことが大きな問題です。組全体あるいは積み上げる声として開催が熱望される状況にはないと判断しています。

それは組内全体の他の活動停滞になりかねないことですが、研修部から無理強いしても、意味がないと考えています。



第一生命経済研究所 小谷みどり氏

壮年会部活動報告

壮年会部部長 上本周司

平成三十年度の壮年会部の最初の大きな活動は、五月十二日から十三日に北見西組の担当で行われた「第十五回北海道教区仏教壮年研修大会」となりました。会場は紋別市のホテル・オホーツクパレスで、十四人が参加しました。

次に、今年度は十勝組仏教壮年会連盟にとって記念すべき二十周年となる年だったので、五月二十二日から二十三日にかけて、十勝川大平原ホテルに於いて「第三十一回十勝組仏教壮年会連盟総会・創立三十周年記念行事」を開催し、七十名近い多くのご参加をいただきました。記念公演には真光寺の桃井直行師による「ここを育てる」を講題としたご法話をいただき、「今・ここ・私」の話としての仏教について考えさせていただくご縁をいただきました。また、その後の記念祝賀会も盛会のうちは無事閉会する事ができました。

六月十一日には、毎年恒例のパークゴルフ大会を開催しました。今年で第二十一回となるパークゴルフ大会は帯広別院を当番寺として十勝川公園パークゴルフ場で開催され、およそ六十名のご参加をいただき、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

年が明けて二月十一日から十二日にかけて、総代会と合同で「十勝組第三十回総代会、第三十一回壮年会合同一泊研修会」を十勝川温泉の観月苑にて開催しました。ご講師に根室組暁善寺住職の佐藤暁慎氏を迎え、「ご本願に生きる」現代社会における私たちの光と影」をご講題に、身近な体験談などから仏教の基本的な考え方について学ぶご縁をいただきました。総代会と壮年会を合わせて八十名以上のご参加をいただきましたが、さらに多くの方に参加していただけるよう、来年は日程の見直しなども含めて検討していきたいということになりました。

その他、各行事の前後に準備や反省のための役員会を開きました。本年度は大きな行事もあって慣れない部分もありましたが、役員部員一同協力して取り組みました。

十勝組仏教壮年会連盟創立30周年記念式典・祝賀会





婦人会部活動報告

婦人会部部長 鷲岡康照

十勝組仏教婦人会連絡協議会は、三十一ヶ寺が加盟し活動しています。五月二十五日、帯広別院に於いて総会を開催しました。

各議案を審議・了承し、役員改選において会長 所 敏子（照經寺）さん、他五人の新役員を選任し、新体制でのスタートとなりました。

七月五日には第六十三回十勝組仏婦大会・第二十八回若婦人研修会を一九〇人の参加を頂き帯広別院のご本堂で開催いたしました。

ご講師に日高組崇徳寺住職忍関 崇氏をお迎えし、

『念仏者の生き方』のご講題のもと、「阿弥陀仏とははたらきである」という阿弥陀如来の話からはじまり、聞法によって自らが

変えられていく大切さを学びました。また、

五輪のスケート小平奈緒選手にまつわるエピソードを通し、つながり、ご縁の中にある日々の暮らしの有り難さを感じさせられました。

「自他共に心豊かに生きることのできる」社会を作っていく、

その根本に浄土真宗のみ教えの尊さ、つながりの大切さ、

お育ての大切さを思わされました。

もうひとつの大きな事業であります

一夜研修会は、四月二〜四日、

十勝川観月苑を会場に開催されます。

ご講師には空知北組常楽寺住職の

山本徹浄氏をお願いしています。山本先生は

声楽家としてもご活躍されており、

歌・音楽を通してご法儀をお伝えくださる

ことと楽しみにしています。

また、次年度から総会を一夜研修会に

併せて開催するように致しました。

各寺の仏教婦人会も高齢化や種々の

問題を抱えながら活動していることと

思います。お念仏の聲が、お念仏の輪が

広がるよう、連協の活動を進めてまいります。



(講師 忍関崇 師)

(第六十三回 十勝組仏婦大会)



青少年キッズサンガ活動報告

青少年キッズサンガ部長 皆川隆信

平成三十年度の青少年キッズサンガ部のメインとなる大きな活動は、十一月二十三日に行われた十勝組青少年キッズサンガ部研修会でした。

今年の研修会は、子供さんが三十七名、保護者の方が七名、スタッフが十五名、合計五十九名で行いました。今年も帯広別院様や一味会・七味会の方々にご協力・お手伝いを頂き、お陰により研修会を盛大に終わらすことが出来ました。この場をお借りして、お手伝い下さいました皆様に厚く感謝申し上げます。

当日は十時二十分より開会式を行い、終了後ますやパン屋様による手作りピザ作りを全員で体験しました。自分でピザ生地を作りながらますやパン屋様による楽しい食育のお話があり、作ることや食べることを改めて考えるご縁になったのでないかと思えます。その後、一時よりゲーム大会を行いました。言葉の文字数と人数を合わせて手をつなぐゲームやピンポン玉をスプーンに乗せて走るリレーゲームなどを行い、子供たちがとても楽しそうに参加していました。一時三十分より帯広別院様の一階をお借りして、宝探しゲームを行いました。ヒントを解くのが大変だった子供さんもいましたが、とても盛り上がったと思います。宝のボールを見つけた子供さん全員に駄菓子の参加賞を渡し、喜んで食べていました。終了後、閉会式を行い、集合写真を撮って解散しました。子供たちの笑顔溢れるとても充実した青少年キッズサンガ部研修会になったのではないかと考えております。

この研修会が、お寺にお参りするご縁、合掌をするご縁、お念仏を称えるご縁になることを念じつつ、これから子供たちのご縁作りである青少年キッズサンガ部研修会を開催していけるよう精進していきたいと思えます。今度とも皆様のご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願い致します。

十勝組青少年キッズサンガ部研修会
お寺で作ろう！楽しもう！





寺族婦人会活動報告

寺族婦人会会長 藤原美香

私たちが寺族婦人は、「坊守」という名称で親しく呼んでいただき、各々自坊でお手伝いをさせていただいています。

十勝組三十九ヶ寺に六十名以上の会員がいます。なかなか全員が揃うということはありませんが、今年も無事に計画通り全ての事業を終えさせていただきました。平成三十年度の活動報告をいたします。

①三月六日 総会・新年会

ガーデンズホテルを会場に、千葉組長さまを来賓としてお迎えし総会を開催しました。一年に一度の役員改選の年でした。終了後は新年会。美味しいお食事と楽しいゲーム。毎年の楽しみのひとつでもあります。

②四月二十七日 春の研修会

研修会はいつも帯広別院さまをお借りしています。午前はご輪番の陰長正憲師のご法話をいただきました。午後はパステル和アートの飯田句美氏をご講師にお迎えし、指一本を使って絵を描き、作品の完成を喜びあいました。

③六月二十三日 夏の研修会

帯広別院さままでの公開講座を十名が聴講しました。

④八月二十日 親睦旅行

一年に一度の事業です。今年は由仁ガーデンとヒナタブーズの工場を見学。各々のおやつを分け合いのんびり出掛けました。

⑤十月二十六日 秋の研修会

午前は鹿追町玄誓寺のご住職・上本周司師のご法話をいただきました。午後からは日本茶インストラクターの家常和氏をご講師にお迎えし、玉露の淹れ方などを習い、「心得はお湯を沸かす段階から始まっている」などお茶の奥深さを教わりました。

「若坊守」「坊守」「前坊守」それぞれの立場での集まりです。

来た道行く道。知恵に支えられ、若さに頼もしさを感じながら、互いに学びを深め、和やかな会としてあつという間の一年でした。

合掌



一味会活動報告

一味会会長 三浦敬信

六月二十六日に管内の真宗大谷派、本願寺派の
寺の青年僧侶による東西対抗ソフトボール大会を
音更中央ソフトボール場にて開催いたしました。

はじめは毎年恒例となつてゐる混合チームで試
合いが行われました。そして、次第に身体が温まっ
てくると、いよいよお待ちかねのお互いに気合いの
入る東西対抗ソフトボール大会の始まりです。珍プ
レーあり、好プレーありのたいへん白熱した試合と
なりました。結果は残念ながらお西の負けですが、
その後、懇親会が行われお互いの健闘を讃えつつ楽
しく親睦を深めました。

三十年度その他の活動としましては、恒例となり
つつある新泉寺ご住職・高久教仁師による書道教
室を開催しました。会員の多くがなかなか上手く書
けないなかでも、時間を過ぎるのを忘れる
くらい集中して一所懸命に
書道に向きあつていました。

また、十二月には東西対抗の
ボーリング大会を行い、さらなる
親睦を深めました。

一時会員減少に悩まされていた
一味会ですが、
会員も増えつつあり、
これから今まで以上に
活動してまいります。



(青年僧侶 東西対抗ソフトボール大会)





冬の研修会



春の研修会



七味会の会長という大役を引き受けさせて頂いて早二年が経ちました。現在、会員の若い坊守さん方は、子育て真っ最中という事もあり、お子さん連れでも参加しやすい研修会ができるようにと役員一同計画を立てています。

今年度は帯広別院にて六月十一日、ご講師に佐々木祥子さんをお招きいたしました。アロマに触れよう メディカルアロマ」と題し、九名（+お子さん四名）で春の研修会を行いました。

今、色々な薬を薬局でもらいますが、その薬の中には添加物が沢山入っているそうです。それらの薬を使わなくても症状を回復させる効果のある精油を使って、精神安定用のジェルや手荒れ用のクリームなど、各自症状に合わせた体に優しいケア用品を作りました。参加者の中には先生の元に資格を取りに行った人もいたという人気の研修会でした。

秋の研修会は十月一日に、お寺探訪で仏照寺さまをお訪ねしました。お寺の沿革や寺院内を見学させていただく予定をしていましたが、台風の進路が十勝直撃のルートになってしまい、小さいお子さん連れの会員さんも多いことから、泣く泣く中止と判断いたしました。快くお引き受けいただき、またお忙しい中お時間を作ってくださいました。仏照寺様には、大変ご迷惑をおかけ致しました。また機会がありました時にはどうぞよろしくお願い致します。

冬の研修会は十二月七日に御料理と茶房久八にて、「美味しいお茶の淹れ方」と題し、家常和様にお茶のいろはから、美味しいお茶の淹れ方を教えていただきました。普段飲んでいるお茶とは一味も二味も違い、とても上品でおいしいお茶を淹れることができ、参加した四名はとても感動しました。

この日忘年会の企画もしており、四名の参加ではなび屋に行き、楽しいひと時を過ごしました。

今後も楽しく、気軽に集えて、横の繋がりができるような会を作っていきたいと思えます。

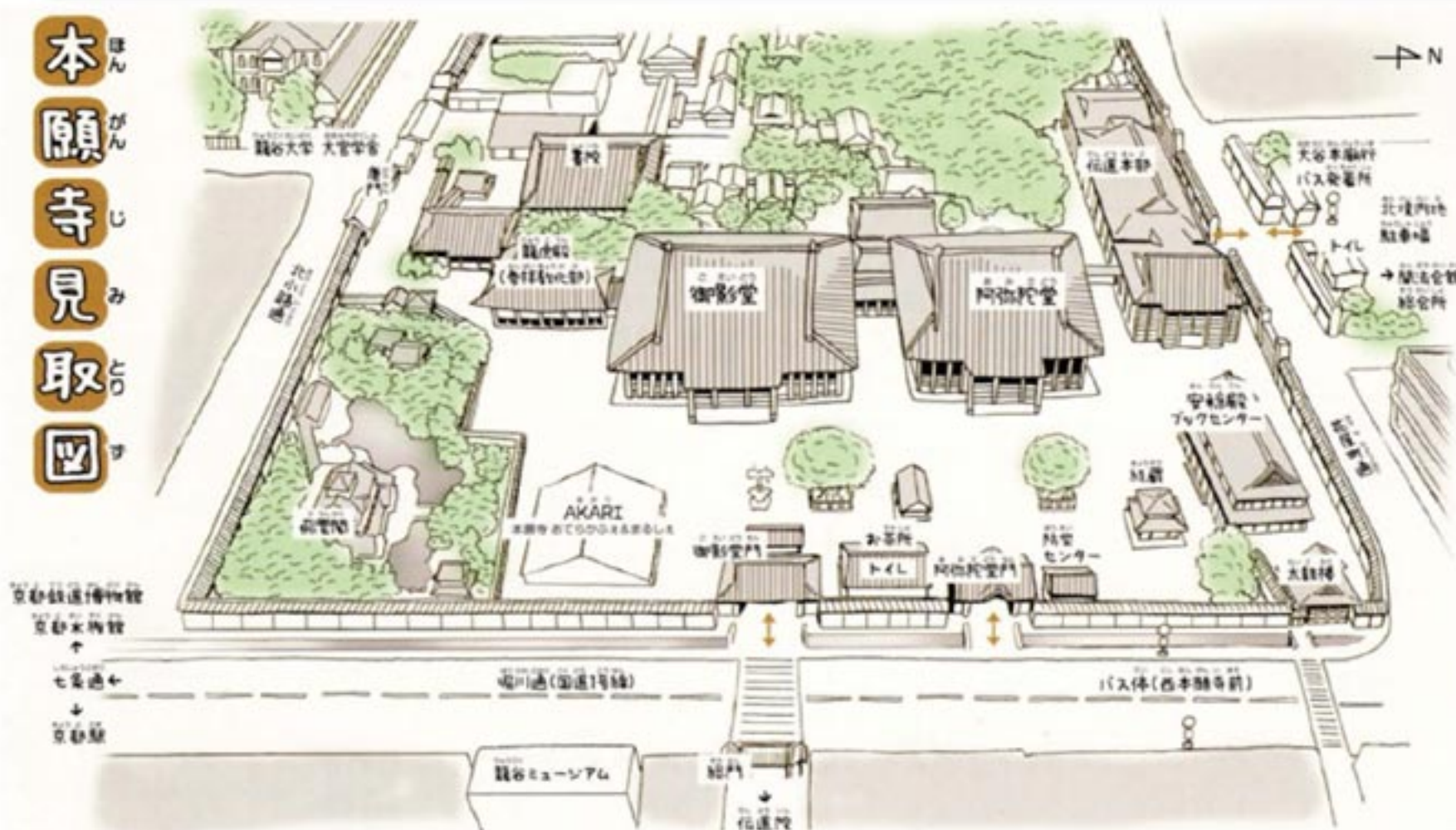


2019年度 十勝組 帯広別院テレホン法話 当番担当表



1.	研修部	調整(脇谷)	4月 1日 ~ 4月15日	
2.	寿光寺	増山 誓史	4月16日 ~ 4月30日	広報部
3.	顕勝寺	芳滝 聡	5月 1日 ~ 5月15日	//
4.	立教寺	千葉 照映	5月16日 ~ 5月31日	三役
5.	光教寺	岩崎 教之	6月 1日 ~ 6月15日	//
6.	真光寺	桃井 直行	6月16日 ~ 6月30日	//
7.	大船寺	三浦 敬信	7月 1日 ~ 7月15日	//
8.	妙法寺	石田 智秀	7月16日 ~ 7月31日	副委員長
9.	光明寺	臼井 教生	8月 1日 ~ 8月15日	副委員長
10.	大正寺	高田 芳行	8月16日 ~ 8月31日	教区会議員
11.	光心寺	桃井 信之	9月 1日 ~ 9月15日	総代会部
12.	願恵寺	藤原 昇典	9月16日 ~ 9月30日	//
13.	宝照寺	鈴木 克彦	10月 1日 ~ 10月15日	//
14.	寿光寺	増山 直樹	10月16日 ~ 10月31日	//
15.	報徳寺	佐藤 信広	11月 1日 ~ 11月15日	//
16.	玄誓寺	上本 周司	11月16日 ~ 11月30日	壮年会部
17.	仏照寺	藤本 実円	12月 1日 ~ 12月15日	//
18.	東光寺	豊田 信英	12月16日 ~ 12月31日	//
19.	帯広別院	ご輪番	1月 1日 ~ 1月15日	
20.	照経寺	鷲岡 佑照	1月16日 ~ 1月31日	//
21.	本證寺	平林 祐	2月 1日 ~ 2月15日	//
22.	照経寺	鷲岡 康熙	2月16日 ~ 2月28日	婦人会部
23.	法念寺	加藤 淳司	3月 1日 ~ 3月15日	//
24.	宝照寺	泉 恒樹	3月16日 ~ 3月31日	//
	玄誓寺	上本 周作	4月 1日 ~ 4月15日	2020↓予定
	真浄寺	永田 弘彰	4月16日 ~ 4月30日	//
	真徳寺	松浪 賢誓	5月 1日 ~ 5月15日	↓未定

*この表をもちまして、2019年度の担当をご依頼させていただきます。
*別院にて直接録音(操作は容易)するか、または原稿を別院担当者まで



『おかげさま』と
言える人生に孤独はない
勝興寺 小澤睦子 様 (前坊守)
平成30年7月27日 往生

訃報

編集後記

執行部をはじめ、各部会の皆様方のご協力を頂き、十勝組だより編集を進めさせて頂きました、有り難う御座います。又、各寺院の皆様方の行動力には、頭が下がる思いであります。これからも、お力添え宜しくお願い致します。 広報部一同